

令和5年度 珠洲市立蛸島小学校 中期学力向上プラン

年間のゴールの姿

相手に伝わるように、根拠や理由を明確にして自分の考えを表現することができる。

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童の課題	現状と要因・根拠となるデータ
根拠や理由を明確にした表現が苦手である。	<p>[現状と要因]</p> <p>○授業では、根拠となるところに線や印をつけられるようになってきた。 ○教師は意識して問い返しができるようになり、ねらい達成の糸口になっている。 △授業では教師の支援のもと、線を引いて考えられるようになってきたが、検証問題では、自力で根拠や理由を明確にした考えを表現することが難しかった。 →内容や条件を把握させて、問題を解かせるようにする。 △相手の意見・考えに対して理解が不十分なため、質問や意見を伝えることが苦手な児童がいる。 →質問したり、意見を述べたりしながら、対話を通して、適切な表現のイメージを持たせる必要がある。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期：検証問題 57%、ノート検証 88%、アンケート 89% ・4年石川県基礎学力調査 8(2) 43% (石川県 48%) ・5年ベネッセ学力調査 4(3) 67% (全国 37%) ・6年全国学力調査 1(2) 33% (全国 27%) ・質問紙 36 「話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりできている」(強肯定 33%)

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・対話の視点を示し、互いに質問をさせたり、意見を述べたりさせる。 ・学びを深める問い返しをする。 	<p>実施検証 「根拠や理由を明確に表現している。」(80%) 「対話の中で質問や意見を述べている。」(80%) 「根拠や理由が曖昧な部分について問い返す。」(100%)</p> <p>研究授業 「根拠や理由を明確するために表現している。」(80%) 「対話の中で質問や意見を述べている。」(80%)</p> <p>児童アンケート 「考えを聞いて、質問をしたり、意見や感想を言ったりすることができた。」(90%)</p> <p>全校検証問題 「根拠や理由を明確に表現している。」(70%)</p>	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価項目 (誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
9	授業評価表 (授業者 29日)		
10	授業参観シート (研究授業 5日) 授業評価表 (授業者 31日) 児童アンケート (検証 31日) 検証テスト (検証 31日)		
11	授業参観シート (研究授業 11月28日) 授業評価表 (授業者 11月30日)		
12	児童アンケート (12月18日) 検証テスト (12月15日) 教師アンケート (12月20日)		

中期 (Ⅱ期) 取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
相手の考えに対して、質問や意見、感想を言うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・集会や行事の際に対話の場面を設定し、意見を交流させる。 ・100文字作文を全校で交流する時間を設ける。 ・10月と12月にアンケートを実施し、授業改善に生かす。 	